

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年12月23日更新

事務事業名		都市防災総合推進事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連					
総合計画体系	政 策	4	生活環境の健康				所属部	総務部	課長名	松田 勝	
	施 策	15	防災対策の推進				所属課	企画課	担当者名	坂田寛之	
	施策の柱	48	災害予防対策				所属班	企画広報班	(内線)	1252	
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 26	事業連番 11744	根拠法令				
終了、開始年度		☒ 31年度で終了 ☐ 31年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 29 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	市復興まちづくり計画に基づいて進める重点・主要事業のうち、①合志地区防災広場(合志庁舎前)、②野々島地区防災広場(野々島防災拠点センター西側拡張)及び③黒石地区防災拠点センター(設計のみ)の3つの事業について、国庫補助金(都市防災総合推進事業)を活用し整備事業を実施する。 平成30年度までに野々島地区の防災拠点センターと防災広場及び合志地区の防災拠点センターと防災広場の整備は完了し、令和元年度に黒石防災拠点センター整備工事を実施している。
【業務の流れ】	1. 復興まちづくり計画に基づく交付金要望事務→2. 国、県、庁内調整事務→3. 補助申請事務→4. 関係課調整(管財課、生涯学習課)→5. 整備事業実施(担当課)
【主な予算費目】	委託料、工事請負費
【意見や要望】	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動) (DO) 黒石防災拠点センターの整備工事をを行った。 国庫補助金関係事務処理を行った。		2年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 黒石防災拠点センター整備工事の完了をもって事業終了	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア 契約件数	件	事業終了に伴う減	
→ イ 事業に伴う関係者との協議、説明会回数	回		
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 合志地区防災広場、野々島防災広場、黒石防災拠点センター		②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
		→ ア 計画する防災施設数	箇所
		→ イ	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 施設整備が完成し供用できる。		③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
		→ ア 完成し供用開始できた防災施設数	箇所
		→ イ	
*③成果指標設定の理由と 2年度目標値設定の根拠 施設整備が本事業の目的であるため。なお、令和元年度に残る黒石防災拠点センターも完成見込みであるため、すべての施設の整備が終了する。			総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	29年度 実績(決算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	31年度 実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
投 入 費 用 量	事業費	国庫支出金	千円		86,400		207,200			
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円	14,800	86,400		186,400			
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	14,890	34,426		31,695			
	人件費	(A) 事業費計	千円	29,690	207,226	0	425,295			
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0			
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0			
		正規職員従事人数	人	2	1	0	3			
		延べ業務時間	時間	40	600	0	710			
		(B) 人件費計	千円	0	2,365	0	2,813			
	トータルコスト(A)+(B)		千円	29,690	209,591	0	428,108			

事務事業名	都市防災総合推進事業	所属部	総務部	所属課	企画課
-------	------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は31年度の後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	☒ 達成した 市地域防災計画にある3施設（合志地区防災拠点施設、野々島地区防災拠点施設、黒石地区防災拠点施設）のすべてがH31年度に完成し目標を達成した。
	②2年度目標達成見込み	☐ 目標達成見込みあり⇒【理由】 平成31年度の事業をもって事業終了
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある⇒【理由】 平成31年度の事業をもって事業終了
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない⇒【理由】 平成31年度の事業をもって事業終了
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある⇒【理由】 平成31年度の事業をもって事業終了
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある⇒【理由】 平成31年度の事業をもって事業終了
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある⇒【理由】 ☒ 公平・公正である⇒【理由】 当事業は、市地域防災計画に基づく防災拠点センター等の整備であり市民の避難場所等となることから、受益機会は公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である⇒【理由】 市地域防災計画に基づく防災拠点センター等の整備事業であることから行政の役割は適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

--

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☒ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善（有効性改善） ☐ 事業のやり方改善（効率性改善） ☐ 事業のやり方改善（公平性改善） ☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr> <tr> <th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																						